

※こちらの支援プログラムはあくまでも一例となります。

当施設では、お子様一人ひとりに合わせて支援プログラムを作成している為、同じプログラムのお子様はいらっしゃいません。

(別添資料1)

事業所名

ABA児童発達支援セルン

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和 7 年

1 月

20 日

法人（事業所）理念		ABA応用行動分析学を用い、一人ひとりの一つひとつの行動を分析し、その行動に適した支援を職員一体となつて行う。「できた」からいいではなく「なぜ」を追究して根本の原因を解決し「できる」へ導く。個々に合わせた提供方法（スモールステップ）で「できる」を増やす。子どもの将来につながる支援。保護者と子どもにかかわる施設(保育園・幼稚園・学校)との密な連携。					
支援方針		保護者の方との面談、アセスメントを行い、お子様の特性を理解したうえで必要な支援に適した有資格の職員が実際にお子様をみて分析を行い、必要な支援内容・方法について細かく分析し、個々に合わせた目標設定を行う。ABA応用行動分析学を用い、すべての職員が一貫した関わりを行う。お子様ひとりひとりに合わせた支援方法でお客様の「できる」を増やす。お子様の必要な支援に合わせて個別療育・小集団療育を行う。					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり ※利用条件あり
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	食事(スプーン・フォーク・箸・コップから水を飲む・咀嚼・嚥下 他) 靴・衣類の着脱 排泄 他					
	運動・感覚	粗大：トンネル その場で(両足)ジャンプ トランポリン マット運動 バランスストーン グーパー 跳び箱(初級) 平均台 片足立ち ケンケン 缶ぼっくり キャッチボール ぶら下がり棒 (ボール ラケット バット 縄跳び 網 スクーターボード バランスボード ストライダー 他)を使用した協調運動 他 微細：紙ちぎり トング 洗濯ばさみ シール ボタン ファスナー ボタン スナップボタン 運筆(迷路・描画・描写・絵・塗り絵・折り紙・はさみ・のり) 他 ビジョントレーニング 他					
	認知・行動	数の概念 文字(受容・表出・読み・書き) 場面理解 着席 適切な行動 指示理解 他					
	言語 コミュニケーション	要求 受容 表出 会話 発語 他 (名詞・動詞・形容詞・色・形・身体部位・位置関係・季節・場所・人物・職業・模様・天気・カレンダー・時計・時系列・左右の概念・反対語・カテゴリー分け 他)					
	人間関係 社会性	自己統制 模倣(動作・音声) 色々な遊び 目合わせ 他者意識・視点・理解 援助要請 他者との相談 他					
家族支援		支援目標の現状の共有・今後の支援、および保護者、本人、兄弟姉妹の相談を事業所内にて個別で行う。			移行支援		支援者の通っている施設との毎月の日常的な連携に加え、保育園・幼稚園・学校等の行事や活動の際には参加方法の検討や促し方の共有、行事での課題などを療育に取り入れるなどしてお子様の集団への参画を支援している。
地域支援・地域連携		児童発達支援がより身近な施設となり、保育園や幼稚園、学校と同じくらいの認知度へ少しでも近づけるよう地域の活動に積極的に参加し、特性のある子どもたちへの理解を深めてもらう。			職員の質の向上		講師を招いたABA療育に関する定期的な研修、各々の資格・経験に合わせた外部研修・関連(協力)施設全体研修・事業所内の振り返り週間を年に2回設け、療育の質向上提供方法の統一を図っている。
主な行事等		夏祭り(対象者のみ) お楽しみ会(クリスマス) 節分 卒園・卒業式 など					